

神鋼記念病院形成外科の患者さんへ：

両側乳房再建術の術式選択理由と術後満足度に関する検討

2025 年 7 月 神鋼記念病院形成外科

1. 研究の目的・意義

乳房再建の手術方法として、大きくはインプラントと自家組織（当院では腹部皮弁や広背筋皮弁）のいずれかが選択肢となります。本研究では、両側乳房を再建された患者様が上記 2 種類の手術方法のうちどちらの方法を選択されたか、その手術方法を選択された理由、そして現在の乳房を含めたご自身の身体に対する満足度について調査し、これまでに両側乳房再建術を受けていただいた方、そして今後両側乳房再建を必要とする方への診療の一助とすることを目的とします。

2. 情報の取得期間

2018 年 1 月 1 日から 2024 年 7 月 1 日の期間に当院でインプラントもしくは自己組織を用いた両側同時乳房再建術を施行した中で、術後 1 年以上の経過観察を行っている方を対象とします。

3. 診療情報の項目

両側乳房再建においてどちらの方法を選択されたか、その選択理由、満足度について記名式のアンケート調査を行い、患者様の実際の手術内容や術後経過と照らし合わせながら検討に用います。なお、アンケートの回答内容で今後の診察や診療に不利益が及ぶことは一切ございません。

4. 解析結果は学会発表、論文として公表いたします。

5. 個人情報の保護

この研究で得た情報は源順に管理され、学術目的のみで利用されます。従って、学会発表や論文から個人が特定される恐れはありません。本研究参加者以外の第三者に個人情報が流出することはありません。各患者さんのプライバシーは厳重に保護されますのでご安心ください。

6. 利益相反

私共の研究に関して、個人や会社との利益相反はありません。

7. 本研究の趣旨に賛同いただき、参加に同意いただける場合は、記名式アンケートへのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

当院における連絡先： 神鋼記念病院 形成外科

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1 丁目 4-47 Tel: 078-261-6711, FAX: 078-261-6726

形成外科： 志馬 萌 / 奥村 興